



健やか



明日の尿検査の流れ

- ① 今日配付した名前シールとスピッツ管と紙コップを準備します。



- ② 明日の朝、起きてすぐにトイレに行き、出始めの尿を少し出してから、紙コップに尿を取ります。

- ③ 紙コップにとった尿をスピッツ管に入れて、しっかりとフタをしめます。

この時、紙コップのふちを軽くV字状に折ると入れやすいです。
尿はスピッツ管の8分目を目安に入れましょう。

- ④ 名前シールに、学年、クラス、学校名、氏名を記入し、スピッツ管に貼ります。

名前シールはスピッツ管の真ん中より少し上に貼ってください。

- ⑤ 忘れずに学校に持っていき、登校してすぐに保健室に提出します。



尿がこぼれるのを防ぐために、かばんの中には、たてに入れましょう。

- ⑥ 忘れた人、提出ができない人は、登校してすぐに加納先生に伝えてください。

今回提出できなかった人は6月7日（火）に提出することになりますので、使っていない容器類は捨てるに家で保管しておいてください。

尿検査の注意事項

- × 尿を取る前日は、寝る前にトイレにいき、甘い飲み物やお菓子などはさける。
- × 尿を取る前日は、なるべく激しい運動をさける。
- × 尿は朝起きてすぐのものを取る。(前日の夜に取らない)
- × スピッツ管のふたにビニールテープなどを巻かない。



尿検査でなにがわかるの？

尿の中に、たんぱく・血液・糖・ウロビリノーゲンがまじっていないかどうかを調べることで、腎臓をはじめとした、さまざまな内臓の健康状態がわかります。



体の中の不要物は水とまじり、血液に乗って腎臓まで運ばれます。腎臓は血液のろ過装置です。不要物を尿として体の外に出します。体に必要なものは、血液に再吸収されていきます。

このため、たんぱくや糖、血液が尿にまじっていたら、いろいろな病気の可能性が出てきます。尿検査はそれを調べるための検査です。

たんぱく

腎臓病などで必要以上のたんぱくが尿に混じる場合があります。激しい運動の後や高い熱が出たとき、脱水で出ることもあります。

糖

糖尿病だと、体の中で上手に糖を使えなくなるため、残っていた糖が尿にたくさん混じることがあります。腎臓に問題がある場合もあります。

血液

腎臓から尿管、膀胱を通して外へ出るまでの通り道のどこかで、尿に血が混じることがあります。いろいろな病気が考えられます。女性は生理で血液がまじることもあります。

ウロビリノーゲン

健康であれば尿中にわずかなにウロビリノーゲンがまじりますが、多すぎる場合、または全くない場合には、肝臓や胆のうなどに問題がある可能性があります。

保護者のみなさまへ

明日は尿検査の提出日です。起床直後に尿を採取しますので、ご家庭での呼びかけ等、ご協力をお願いいたします。体調不良や生理等で提出できなかった場合は、6月7日(火)に提出となりますので、今回使用しなかった検査用具はご家庭で保管をお願いします。また、今回の検査で陽性と判定されても、すぐに病気というわけではありません。再検査の結果で再び陽性になった場合は、学校医またはかかりつけの医師にご相談ください。